



町内会加入世帯数 5078 世帯

平成30年度 「高齢者等安心見守りネットワークin尾長」

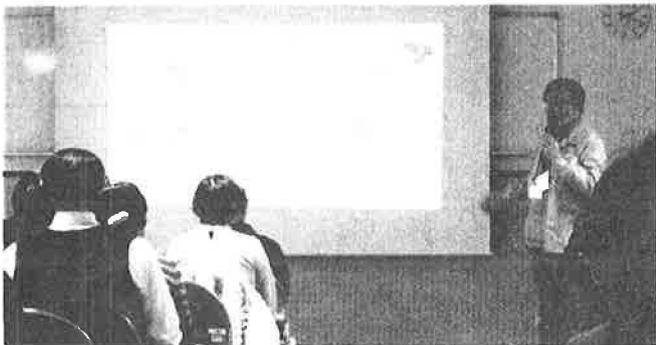
協力員・協力業者研修会

2月21日(木)13:30から、東区総合福祉センター3階大会議室にて「高齢者等安心見守りネットワークin尾長」の研修会が開催されました。平成25年11月から始まった「高齢者等安心見守りネットワーク」事業も6年目に入り、活動も少しずつ広がってきました。毎年2月に協力員・協力業者研修会を開催しており、今年度は140名の方が参加されました。

尾長地区社協の森平会長、東区厚生部草野課長の挨拶の後、今回は尾長地区社協の「福祉のまちづくりプラン・第3次5ヵ年計画」について



でも説明させていただきました。平成25年からの第2次まちづくりプランの検証や、現状に合わせた今後5年間の柱となる組織や活動経過など、2年をかけて会議を重ねてきた第3次プランを説明させていただきました。また、「住みやすい魅力ある尾長に出来るよう、皆で地域づくりをしましょう。」と協力をお願いしました。



研修会では「高齢者等安心見守りネットワーク」の現状や今後の展開などを報告しました。高齢者の見守り対応の事例や、5年間の変化などを説明し、見守りの大切さや変化を再確認していただきました。

続いて、昨年10月よりスタートした「ボランティ

アバンク」の仕組みや流れなどの説明をしました。モデル地区の若草町内会の田村会長より身近な活動事例などの発表があり「気軽に頼める関係づくりからボランティアバンクを進めましょう。」と話されました。

最後に、庄原市の生活支援コーディネーターの上田正之先生を講師としてお迎えし、「“ここで暮らそう”を一緒に考えよう」をテーマにお話を頂き、グループワークも行いました。



6人グループでテーブルを囲み、「将来どんなことで困り始めるか」また「私はこれなら応援できる」など、それぞれの立場を想定し、意見を出し合いました。困ると予想されることは「ゴミ出しや分別」「買い物」「手紙を含む書類の理解」「携帯電話の操作」など、誰もが日常的に感じている問題が多かったです。

また、応援できることとしては、「日頃から声を掛けられる関係づくりが大切」との意見が多かったです。

初の試みのグループワークは、いつもの研修と違い心配でしたが、「気楽に会話に参加できとても楽しかった。」「また参加したい。」等の声をいただきました。

この研修会には、東区社協や他地区の社協・二葉包括支援センターや他地区の包括支援センターからもグループワークのリーダーとして参加していただき、とても助かりました。「とても楽しく勉強になった。」「自分たちの地区でも実施したい。」と好評でした。講師の上田先生の巧みな進行に、あっという間に時間が過ぎていました。

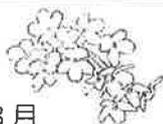
今回の研修会も、参加した方々が、それぞれ将来にどんなことを不安に思うか考え、それに対して自分達がどんなボランティア(手助け)が出来るか改めて考える良い機会になったと思います。

「近所や友達との話題にしたい」との参加者の嬉しい声に成果を感じました。

尾長地区社会福祉協議会 福祉推進委員 石田三枝子



尾長小学校卒業式・入学式



二葉中学校卒業式・入学式

希望を胸に二葉の風をふかせよう！

卒業式



平成31年3月20日(水)、平成最後の卒業式。そして4月10日(木)は、あいにくの冷たい雨になってしまいました

が、平成最後の入学式が行われました。

入学式は成長して小学校を巣立っていく6年生の頼もしい姿と、初めての大勢の友達、大きな体育館に戸惑いながらも、元気に行進し大きな声で挨拶を返してくれる1年生の微笑ましい姿は、令和の時代の始まりにふさわしく、忘れられない式になりました。

入学式



平成31年3月12日(火)、第68回卒業証書授与式。そして4月10日(水)は、第69回入学式が行われました。

二葉中学校のスローガン「自主・自立」(自ら考え判断し、率先して行動する生徒)・「協働」(仲間と協力する生徒)や、合言葉3F「Family(家族のような絆)・Friendly(思いやり、優しさ)・Future(未来づくり)」を継承し、将来を担う中学生の活躍に期待します。

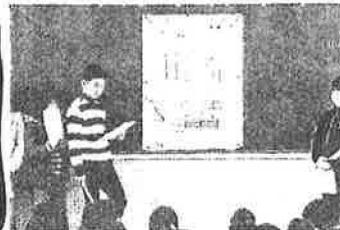
卒業式



入学式



わたしたちのエキキタ
〜一つ手を加えたら〜
尾長小学校4年生の学習発表



3月18日(月)尾長小学校視聴覚室に、4年生児童が集合し、地域の大人達も聴く中で、各クラスの代表グループが次の発表を行いました。



- (1)エキキタにアスレチックせつを作ろう!
- (2)エキキタのイメージキャラクターがついに……
- (3)エキキタ〜理想のイベント
- (4)みんなのベストカフェを開こう!

どのグループもアンケートを取り、集計結果を反映しながら仕上げた夢の施設やイベント、キャラクターなどを模造紙に描いての発表でした。

熱心に聴いていた児童からは、たくさんの質問があり、大人では考えつかない発想に驚かされました。

これから更に発展していくエキキタにとって、参考になるこれらのアイデアは、実現出来たら良いなと思うものがたくさんありました。

他のグループの作品も全て廊下に掲示されていました。見学していると児童が丁寧な説明をしてくれ、頼もしく感じました。

